

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社 セレスポ

上場取引所 東

コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部副本部長兼経理部長 (氏名) 堀貴 貴司

TEL 03-5974-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,622	13.1	111	306.5	116	266.6	73	427.1
28年3月期第1四半期	2,318	1.8	27	△45.5	31	△44.1	13	△52.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	13.37	—
28年3月期第1四半期	2.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	6,641	4,286	64.5	782.09
28年3月期	6,682	4,303	64.4	785.12

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 4,286百万円 28年3月期 4,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.4	500	18.3	500	13.9	330	21.4	60.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	5,703,500 株	28年3月期	5,703,500 株
29年3月期1Q	222,611 株	28年3月期	222,611 株
29年3月期1Q	5,480,889 株	28年3月期1Q	5,481,493 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
(3) 追加情報.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項.....	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 補足情報.....	7
部門別売上高.....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策及び金融政策等の影響を受け、雇用・所得環境の改善等、緩やかな回復基調が続いており、企業収益は高い水準にあるものの、個人消費の伸び悩み、円高の企業業績への影響、先行きの不透明感がぬぐいきれない状況が強まっております。

このような状況下、当社では平成28年3月期より開始した「中期経営計画Ⅲ」に基づき、顧客起点の実践による顧客の課題解決に向けた対応力を強化するとともに、効率的な組織運営の推進と利益管理の徹底による収益の安定化と基盤強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高に関しては総じて堅調に推移して増収となり、利益に関しては、売上高の増加に加え、材料費の見直しや資材の効率的な運用などの各種原価低減への取組みが功を奏し、売上総利益、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増加しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,622百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益は111百万円(前年同期比306.5%増)、経常利益は116百万円(前年同期比266.6%増)、四半期純利益は73百万円(前年同期比427.1%増)となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

[スポーツ部門]

スポーツ部門は、日本陸上競技選手権大会、世界トライアスロンシリーズ横浜大会の継続受注に加え、競技大会の運営業務の受注が増えたことや、運動会の受注増加などにより、売上高は770百万円と前年同期比33.6%の増収となりました。

[セレモニー部門]

セレモニー部門は、建設式典単価の増加、周年記念事業の受注数増加などにより、売上高は677百万円と前年同期比9.5%の増収となりました。

[プロモーション部門]

プロモーション部門は、企画提案力の強化などにより案件単価が増加したことにより、売上高は534百万円と前年同期比19.1%の増収となりました。

[フェスティバル部門]

フェスティバル部門は、付加価値提案による営業活動の結果、販売単価が増加したことにより、売上高は369百万円と前年同期比10.2%の増収となりました。

[コンベンション部門]

コンベンション部門は、定例案件は概ね受注できたものの、コンベンション部門全体の案件数減少により、売上高は180百万円と前年同期比6.7%の減収となりました。

[その他事業部門]

その他事業部門は、昨年度に行われた統一地方選挙関連の代替案件が少なく、売上高は89百万円と前年同期比38.1%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べて40百万円減少し、6,641百万円となりました。これは主に現金及び預金が209百万円減少し、受取手形及び売掛金が138百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて23百万円減少し、2,355百万円となりました。これは主に買掛金が85百万円、賞与引当金が59百万円増加したものの、流動負債その他に含まれる未払金が158百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて16百万円減少し、4,286百万円となりました。これは主に利益剰余金が8百万円、その他有価証券評価差額金が7百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績が概ね計画通りに進捗しているため、平成28年5月12日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	649,335	439,676
受取手形及び売掛金	1,535,540	1,673,622
原材料及び貯蔵品	24,664	26,488
未成請負契約支出金	108,019	117,592
その他	116,408	125,437
貸倒引当金	△8,380	△9,664
流動資産合計	2,425,587	2,373,153
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	344,661	340,864
土地	3,310,250	3,310,250
その他(純額)	83,161	80,520
有形固定資産合計	3,738,073	3,731,634
無形固定資産	48,798	62,579
投資その他の資産		
その他	558,928	563,538
貸倒引当金	△89,100	△89,192
投資その他の資産合計	469,828	474,345
固定資産合計	4,256,700	4,268,560
資産合計	6,682,287	6,641,713
負債の部		
流動負債		
買掛金	595,210	680,419
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	115,188	115,220
未払法人税等	112,052	61,455
賞与引当金	111,701	170,709
その他	570,745	479,830
流動負債合計	2,104,897	2,107,635
固定負債		
長期借入金	47,544	18,715
退職給付引当金	77,236	78,329
役員退職慰労引当金	79,292	81,850
資産除去債務	39,745	40,989
その他	30,406	27,625
固定負債合計	274,225	247,509
負債合計	2,379,122	2,355,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,155,397	2,155,397
利益剰余金	862,373	853,421
自己株式	△63,455	△63,455
株主資本合計	4,324,990	4,316,038
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,825	△29,469
評価・換算差額等合計	△21,825	△29,469
純資産合計	4,303,165	4,286,568
負債純資産合計	6,682,287	6,641,713

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,318,199	2,622,559
売上原価	1,572,906	1,750,250
売上総利益	745,292	872,308
販売費及び一般管理費	717,850	760,742
営業利益	27,442	111,566
営業外収益		
受取配当金	4,401	4,331
その他	1,734	1,505
営業外収益合計	6,135	5,836
営業外費用		
支払利息	1,047	674
貸倒引当金繰入額	750	200
その他	—	2
営業外費用合計	1,797	877
経常利益	31,781	116,525
特別利益		
固定資産売却益	429	—
特別利益合計	429	—
特別損失		
固定資産除却損	19	12
特別損失合計	19	12
税引前四半期純利益	32,191	116,513
法人税、住民税及び事業税	33,307	49,362
法人税等調整額	△15,013	△6,110
法人税等合計	18,293	43,252
四半期純利益	13,897	73,260

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別売上高

当社の事業は、イベント総合請負業並びにこれらの関連業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんが、部門別の売上高は次のとおりです。

(単位：千円、%)

部 門	主要内容	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	前年 同期比
		金 額	金 額	
スポーツ	国体・陸上競技・運動会	576,941	770,791	133.6
セレモニー	建設式典・記念式典	618,783	677,453	109.5
プロモーション	展示会・見本市・発表会	449,104	534,760	119.1
フェスティバル	市民祭・商工祭・学園祭	335,510	369,619	110.2
コンベンション	会議・集会・シンポジウム	193,356	180,460	93.3
その他事業	防災訓練・選挙・指定管理者事業	144,502	89,473	61.9
合 計	—	2,318,199	2,622,559	113.1

- (注) 1. 上記金額には消費税は含まれておりません。
2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。